# 今、子どもたちは 自由に あそんでいますか?

今の子どもたちが 外で遊んでる姿を あまり見かけないね。 (50代/日野市在住)

> 同年齢のお子さんが 住んでいる地域にいるのかどうかも 分からず、バラバラな感じがあります。 (30代/子育て中の方/日野市在住)

大人の安心が 子どもの閉塞感に つながっている気がします。 (40代/子育て中の方/日野市在住)

> 子どもは家庭だけでなく 地域で支えることも大切だと 思います。(60代/日野市在住)

走り回ったり、大きな声を出したり ボールあそびをしたりできる場所が ほとんどありません。 (30代/子育て中の方/日野市在住)

> 子どもと一緒にいると 迷惑をかけないかと 常に周りを気にして ビクビクしてしまいます。 (40代/子育で中の方/日野市在住)

※日野市市民活動(NPO)支援補助事業により行った西平山・旭が丘地区の地域アンケート「地域と子どもに関するアンケート〜あなたの声を聞かせてください〜」で頂いた声を一部抜粋して掲載しています。

### 沿革

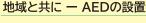
- 2008年 6月 日野市次世代育成支援行動計画の「市民参加での居場所づくり」 として「なかだの森であそぼう!」開催。
- 2009年 4月 「なかだの森であそぼう!」が日野市補助事業となり現在まで続く。 野外保育「まめのめ」が園児7名でスタート。
- 2009年 6月 特定非営利活動法人子どもへのまなざし設立。
- 2013年 4月 仲田公園(現仲田の森蚕糸公園)清掃作業等業務受託開始。
- 2013年11月 第1回子ども・子育て支援会議開催。 当団体理事が委員として参加し、現在まで続く。
- 2015年 3月 日野市子ども・子育て支援事業計画の中の「遊びの場の充実」として プレーパーク「なかだの森であそぼう!」が位置づけられる。
- 2016年 4月 当団体代表が、日野市立仲田小学校学校評議員に任命される。
- 2018年11月 日野市の「空き家活用マッチング」により活動拠点を万願寺より 西平山へ移転。
- 2019年 8月 日野市市民活動支援補助金を受け、西平山地区にて地域アンケートを実施。西平山・旭が丘にて出張プレーパークを開催。(~12月)
- 2019年12月 帝人株式会社様ボランティアサポートプログラムによりAEDを設置。

#### 子どもがいるからつながる人の輪を地域の皆さんと共に…



## 広げる 一 出張プレーパーク

子どもがのびのびとあそべる地域づくりのきっかけとして、出張プレーパークを年に数回開催しています。



AEDの空白地帯であった西平山にAEDを設置いたしました。 緊急の場合はどなたでもご使用いただけるよう、門扉にステッカーを掲示しています。



私たちでお役に立てることがあれば ぜひお声をかけてください。



NPO法人 子どもへのまなざし

〒191-0055 東京都日野市西平山4-18-12

**©** 042-843-1282

<u></u> ir

] info@manazashi2009.sakura.ne.jp

WEB http://www.manazashi2009.org

本パンフレットは、日野市市民活動(NPO)活動支援補助金を受けて作成しました。

# 子どもの声が 響くまちへ

私たちは 子どもたちが 地域のあたたかい まなざしの中で育ち、 豊かな子ども時代が保障される 世の中を目指しています。



# 子どもにとって 「あそび」は 生きることそのもの。

街中のあちこちで子どもたちが遊び育つ姿は すっかり見かけなくなりました。 空き地や緑地など、かつて子どもたちの あそび場だった場所は「立ち入り禁止」の 看板や有刺鉄線で囲われてしまいました。 いつのころからか、子どもたちの姿が 街から消えてしまったかのようです。

「ケガをしないように○○禁止」 子どもにとって良かれと思って大人がしていることが 子どもの体験を奪っていると感じます。

「やってみたいことに挑戦」するのがあそびです。 挑戦なので時には失敗したり、 ケガをすることだってあります。 子どもがケガなしで 健全に育つことはあり得ないのです。 いっしょにあそぶと、ケンカも起きます。 ケンカできる相手がいて、 初めて学ぶことができるのです。

豊かな子ども時代を過ごすためには 子どもたちが日常的に「やってみたい」ことに 挑戦できる場を私たち大人が作り出す必要があります。 次の世代を生きる子どもたちにとって 本当に大切なことを地域の皆さんと一緒に 考え続けていきたいと思います。

## 「子どもの声が響くまち」にするために

NPO法人子どもへのまなざしは主に以下の活動をしています。

## 子どもが主人公の居場所 プレーパーク「なかだの森であそぼう!」

プレーパークとは、子ども自身が「やってみたい!」と思うことを実現していくあそび場です。制止・禁止をするのではなく、温かいまなざしでありのままの子どもを受け止めます。



仲田の森蚕糸公園にて撮影

## ◆ 今も昔も、子どもは「危なく」「汚く」「うるさい」!

"危なっかしい""汚い""うるさい"と大人の都合であそびを制限してしまうと、子どもが自ら育とうとする力を奪ってしまうことになります。

### ◆ 子育てはひとりぼっちではとてもできません。

子ども同士のケンカや失敗が大切だと思っていても、「迷惑をかけないように」と周りの目を気にして、子どもに口うるさく言わなくてはならない…そんなお母さんにたくさん出会ってきました。子どもも親も、たくさんのあたたかいまなざしの中で育ち合うことが、今、とても大切だと考えています。

参加費無料、申し込み不要、どなたでもどうぞのあそび場です開催場所:仲田の森蚕糸公園(日野市日野本町6-1-88)開催日:毎週金曜日、毎月第2・3土曜日 10:00~17:00

#### ◆当団体の活動は皆さんの会費・ご寄付で支えられています NPO法人子どもへのまなざしの活動は、活動に共感して下さる皆 さまの会費・ご寄付に支えられています。

子ども時代の「あそび」を保障し、子どもを真ん中に考える社会を実現するために、ぜひご支援ください。

## とことん仲間と、とことんあそぶ 野外保育「まめのめ」

地域にある森や川、丘を中心に季節や天気で日々変わって いく自然をまるごとフィールドにして、仲間ととことんあそ ぶことを大切にしています。



浅川(日野市西平山付近)にて撮影

## ◆ "ふるさと"は子ども時代にあそんだ記憶の中にある。 「緑と清流のまち」日野市には、豊かな自然が残っています。 浅川で魚とり、土手で野草つみ、仲間と見つけた生き物や木の実、落ち葉は子どもたちにとって宝物です。

### ◆ 子どもの「今」と共に歩む。

子どもは本来「生きる力」にあふれた存在です。 子どもたちの「生きる力」が弱まっているとしたら、それは大人が よかれと急いで大人に近づけようとするあまり、「子ども時代」の あそび育つ体験を奪ってきた結果なのだと思います。 子どもは、いつだって「今」を生きているのです。

就学前の子どもたちが幼稚園(保育園)のように毎日通う場です 対象年齢:1才児~就学前 定員の目安:35名程度 保育時間:月~金 9:00~15:00 または 17:00

正会員(個人の方のみ)6,000円/年応援会員3,000円/年ご寄付1口 1,000円

郵便振替口座 00170-6-449584 トクヒ)コドモヘノマナザシ ※通信欄に寄付または会費とご記入ください。